



令和6年10月29日

# 11月 調布幼稚園だより



## 『読書の秋に』

園長 山形美津子

幼稚園の中庭のキンモクセイが一斉に開花し、よい香りを放ち、深まりゆく秋を感じる季節になりました。

先日の運動会では、保護者の皆様、地域の皆様に多数ご来場いただき、子どもたちの演技に沢山のご声援をいただきまして誠にありがとうございました。お陰で子どもたちも力いっぱいの競技や演技をすることができました。

年少組は入園して初めての運動会でしたが、にこにこの笑顔で踊り、3歳児らしい本当にかわいい姿でした。先生の指示を聞いて動いたり、背の順に並んだりすることもできるようになりました。

年中組は、バルーンの演技を披露してくれました。友達と気持ちを合わせて取り組んだ見事な演技でした。玉入れではどうしたらたくさん玉が入って勝つことができるか一生懸命練習する姿がありました。「来年が楽しみです」とおっしゃっている保護者の方もいらっしゃいました。

年長組は、幼稚園最後の運動会でした。友達と気持ちを一つにして演技も競技も全力で取り組み、やり切った満足感にあふれていました。リレーでは、絶対にバトンをつなぐんだという意気込みで練習し、当日も白熱したものとなり迫力を感じました。また、年長組にしかできない運動会での係活動もしっかりと責任を果たしてくれました。これまでの園生活の積み重ねが運動会当日の活動につながりました。

運動会后、年少組、年中組は年長組の競技や演技に憧れて、運動会の再現遊びをしています。年少組は年長組の真似をしてフェンシングの用具を作って遊んだり、年中組のバルーンを体験させてもらったりしています。年中組は年長組の獅子舞の演技に憧れ、鳴子を借りて曲をかけて踊っています。

一人一人の子どもが、やればできるんだという自己肯定感をもつことができた運動会でした。子どもたちの健康管理など支えて下さったご家族の皆様、ありがとうございました。

さて、スポーツの秋、読書の秋がぴったりの過ごしやすい季節になりました。お家でもお子さんと一緒に絵本を見たり、読んであげたりという日が多くなる季節ではないでしょうか。読み終えた後に私たちは、つい子どもに質問をしたくなります。でも絵本は、子どもにとってしつけや教育のためのものばかりではありません。日常では味わえない心躍る疑似体験を楽しんだり、登場人物の気持ちになっいろいろな感情体験をしたりするのも絵本の魅力です。絵を見ていると、いろいろな世界が広がり、見入ってしまうものです。昔話なら昔の時代や風景を感じることができます。読み終えた後は子どもへの質問より、余韻をじっくり味わえるといいですね。また、段々と文字が読めるようになると、大人が読んであげるのではなく、「読めるようになったのだから自分で読んでね」ということも多いようです。しかし、子どもが一字一字拾い読みをしていては絵をじっくり見ることは叶いません。大人が物語を読んであげると子どもはそれを聞きながらじっくり絵を見てその世界を感じ取ることができるのです。たとえ文字が読めるようになったとしても、是非、大人が読んであげることをお勧めします。

子どもたちの感性が広がる様々な絵本の世界を秋の夜長に読んであげることをお勧めします。

保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

### <調布幼稚園の思い出>

2年後に創立100周年を迎える調布幼稚園。歴史のある幼稚園なので地域には大勢の卒業生の方がいらっしゃいます。もちろん現在在園している園児のお父様やお母様、ご祖父様やご祖母様で卒業生の方もいらっしゃいます。

その方々に在園当時の思い出をお書きいただきました。今の園舎で過ごした方や一つ前の時代の建物で過ごされた方もいらっしゃいます。幼稚園時代の懐かしい思い出を書いて頂きました。順次100周年記念特設サイトに掲載しています。ぜひご覧ください。

# 11月の目標

## 全学年

- 冬野菜や春に花を咲かせる種や球根を植え、発芽や生長に期待をもつ。
- 紅葉など葉の色の変化や木の実などを見たり、遊びに取り込んだり、北風を感じる等、秋から冬への自然の変化を感じる。

## 年少組

- 身近な素材を使って工作をしたり、イメージを膨らませてごっこ遊び等をしたりしながら、自分の思いや考えを表現することを楽しむ。
- 友達と遊ぶ中で、友達の気持ちにも気付けるようになり、時には譲ったり、我慢したりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 長袖のブラウスや体操服の裏返しを直す等、冬に向けて必要な生活習慣を知り、自分で行えるようになる。
- 気持ちのよい気候の中で、思い切り体を動かし遊ぶ楽しさを味わう。
- 表現ステージに向け、みんなで踊ったり歌ったりすることを楽しみ、お家の方に見てもらい喜びを味わう。

## 年中組

- 様々な素材や遊具を使って自分なりに工夫したり、友達と一緒に考えたり、作ったりして出来上がっていく満足感や、それを使って遊ぶ楽しさを十分味わう。
- 友達との遊びの中で、思いを出しながらかわりを楽しんだり、思い通りにならないことがあったりすることにも気付いていく。
- 色々な運動遊びを体験し、体を使って思い切り遊ぶ満足感や充実感を味わう。
- 表現ステージに向かって、劇の流れが分かり、同じ役の子と気持ちを合わせてセリフを言ったり、自分の力を出して役になりきったりしてやり遂げた満足感を味わう。

## 年長組

- 表現ステージでは、お話の流れが分かって役になりきって表現したり、仲間とタイミングを合わせたりして、みんなと一つの劇を作り上げる楽しさを味わう。
- 表現ステージに向かって取り組む中で、自分の力を発揮し充実感を味わったり、友達の良さに気付いたり、認めたりする。
- 学級で仲間と共通のめあてをもって互いに考えを出し合い、相談し、折り合いを付けながら、活動を進める。
- やって良いこと、悪いことなどを考えて行動し、規範意識を身に付けていく。

調布幼稚園の自然と子どもたち

「長かった夏から秋へ・・・お芋ほり」

顧問 外崎明美

畑に茂ったサツマイモの葉。春に年長さんが畝作りをして、苗を植えて、育ててきたサツマイモの葉です。これまでバッタなど虫取りも楽しみ、なんと葉っぱが虫食いだらけになっていて、子どもたちは「おいしかったんだね」「バッタがいっぱいいたからいっぱい食べたんだね」と、話していました。葉が茂ってはお芋掘りではできません。さっそく学年みんなで蔓引きから始めました。

たくさんのお芋を友達と一緒に「うんとこしょ！どっこいしょ！」と引いて、いざお芋掘り！このところの雨で土が少し固く、頑張ってお芋を掘っていました。ふじ組のテラスからは年中さんが見ている、「がんばれー」と応援してくれました。大きなお芋が掘れ、「何にして食べたいかなー」と先生と楽しそうに話していました。

